

製品名: NK-1R ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14715**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	TACR1
別名	TACR1; NK1R; TAC1R; Substance-P receptor; SPR; NK-1 receptor; NK-1R; Tachykinin receptor 1
遺伝子 ID	6869.0
SwissProt ID	P25103
免疫原	抗血清はヒト NK1R 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 211-260

背景

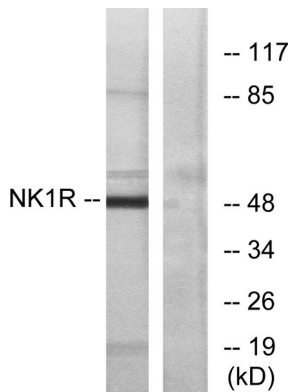
この遺伝子はタキキニン受容体遺伝子ファミリーに属する。これらのタキキニン受容体は G タンパク質との相互作用を特徴とし、7

つの疎水性膜貫通領域を有する。この遺伝子は、ニューロキニン 1 と呼ばれるタキキニンサブスタンス P の受容体をコードしている。コードされているタンパク質は、サブスタンス P のホスファチジルイノシトール代謝の媒介にも関与している。[RefSeq 提供、2008 年 9 月]機能: これはタキキニン神経ペプチドであるサブスタンス P の受容体である。ホスファチジルイノシトール-カルシウムセカンドメッセンジャーシステムを活性化する G タンパク質と関連していると考えられる。この受容体のタキキニンに対する親和性の順位は、サブスタンス P > サブスタンス K > ニューロキニン K である。、オンライン情報: タキキニンの項目、類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。、

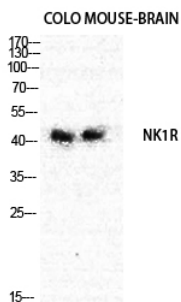
研究分野

カルシウム;神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



NK1R 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 希釈の NK-1R ポリクローナル抗体を用いたマウス脳 COLO 細胞のウェスタンブロット解析